

週 報

1990年12月23日 降誕前第1主日

クリスマス礼拝

巻 11

39号

1990年度教会主題

「新会堂を献げる」

聖句 それは地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。

ルカによる福音書 6章48節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂を完成させていく。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋吉 隆 雄

受験資格がない。3・4ヶ月の求道生活しかしていなかったが、高校3年生の今年のクリスマスに受洗すれば、浪人は一年で済むが、次のイースターまで待てば二浪しなければならないと迷った。クリスマス礼拝の前夜、ようやく決心し、牧師に受洗を電話で申し込んだ。牧師は役員会で承認を求めるから、礼拝後役員会をしましょうとのことで、結局クリスマス後、年の最後の礼拝で洗礼を受けた。私自身は真剣だったから、感激の中、固い決意で受洗した。しかしこの受洗を思い出す度に、私の信仰は、福音書のペトロと似て、心と体は熱しているが、どこかポイントがずれていたように思う。その私も24年間、牧師として用いられ、教会で働くことが許されている。有難いことだと感謝している。イエス・キリストと出会わなかったならば、どういう人生を送っていたらろうか。牧師になったため失ったものもあろう。しかし、それに数倍した恵みをいただいた。クリスマス、感謝。

一牧師室から一

私は今年で32回目のクリスマスを迎える。毎年、クリスマスは楽しい思い出にしてくれる。そして毎年にクリスマスの深みを知らされている。

今年のクリスマスは、受洗者・転会者がなく、いささか寂しい。又、仮会堂での礼拝のため、何となく落ち着かない。しかし、来年6月には新会堂が与えられるという大きな望みがある。新会堂ではああしたい、こうしたいと希望が膨らむ。

クリスマスが来ると、受洗した時のことを思い出す。私は受洗前から、神学校に行き牧師になる決心をしていた。神学校は受洗後、一年以上教会生活をしていないと